

せかい
世界をこの眼で (28~35歳)

1904年(明治37年)に東京帝国大学を卒業した作造は、中国で法律を教えるしごとをしました。

さらに1910年(明治43年)からは、ドイツなどヨーロッパの国々へ留学しました。作造は外国生活で、自分たちのことを自分たちで決めようとみなが声をあげ、その声が政治をうごかす様子を見ました。日本もこのようにならないといけない—そんな思いを作造はつよくしました。



「自分たちのことを自分たちで決めようとみなが声をあげ、その声が政治をうごかす」—これが民主主義の政治だね。日本で民主主義をおこなうためには、どうすればいいだろう…。



ちゅうごく ふく
中国の服をきた吉野作造
1906年(明治39年)ごろ